

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
稲敷市	桜川地区 （古渡、阿波、浮島、 西ノ洲・甘田入）	2022年2月25日	

桜川地区	古渡	古渡、柏木古渡、羽生、堀之内、柏木、飯出、 岡飯出、三次、上馬渡、下馬渡
	阿波	神宮寺、阿波、四箇、南山来、須賀津、甘田
	浮島	浮島、須賀津（飛地）
	西ノ洲・甘田入	西ノ洲、甘田（飛地）、阿波崎（飛地）

1 対象地区の現状

① 地区内の耕地面積	1565.4 ha
② アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	1068.3 ha
③ 地区内における70才以上の農業者の耕作面積	293.8 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	147.1 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	14.1 ha
④ 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	271.3 ha
<p>（備考）</p> <p>市北部に位置し、台地と低地が混在するエリアで、低地部では主に水稻やレンコン等が生産されており、特に浮島地区ではレンコンの作付が盛んである。また西ノ洲・甘田入地区は、ほ場整備事業が継続中である。</p>	

※ 2対象地区の課題、3対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針については集落別に記載する。

集落名	古渡	古渡、柏木古渡、羽生、堀之内、柏木、飯出、岡飯出、三次、上馬渡、下馬渡
-----	----	-------------------------------------

2 対象地区（集落）の課題

- 60代、70代の担い手が多く後継者も少ないため、今後担い手不足が想定される。
- 谷津田エリアでは、日当たりや排水状況が悪いなど圃場条件が悪いため耕作放棄地が増えている。また、隣接圃場との段差が大きいため大区画化が難しいことから、作業の効率化の妨げになっている。
- 耕作放棄地の増加にともない、近年鳥獣被害が増加している。
- 小規模農家が多く、農地の集積が進んでいるとは言えない。
- 担い手の耕作地が点在しており、集約化が進んでいない。

3 対象地区（集落）内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- 離農等で新たに発生する農地の貸借や団地化推進のための耕作地交換等の際には、農地中間管理事業を活用し中心経営体への農地の集積・集約に関する取り組みを推進する。
- 中心経営体等の担い手同士の話し合いを促進し、農地の集約化について検討する。
- 地域内の農業者を中心に後継者を育成し、将来的な経営モデルとして、20ha規模の水稲経営や水稲+ α の複合農業を推進する。また、兼業のあり方について検討する。
- 地域内で担い手の確保が難しい場合は、域外農業者の受け入れや新規就農者の育成・定着を図っていく。

集落名	阿波	神宮寺、阿波、四箇、南山来、須賀津、甘田
-----	----	----------------------

2 対象地区（集落）の課題

- 60代、70代の担い手が多い。後継者は増えてきているが、今後担い手不足が想定される。
- 谷津田エリアでは、日当たりや排水状況が悪いなど圃場条件が悪いため耕作放棄地が増えている。また、隣接圃場との段差が大きいため大区画化が難しいことから、作業の効率化の妨げになっている。
- 耕作放棄地の増加にともない近年鳥獣被害が増加している。
- 小規模農家が多く、農地の集積が進んでいるとは言えない。
- 担い手の耕作地が点在しており、集約化が進んでいない。

3 対象地区（集落）内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- 離農等で新たに発生する農地の貸借や団地化推進のための耕作地交換等の際には、農地中間管理事業を活用し中心経営体への農地の集積・集約に関する取り組みを推進する。
- 中心経営体等の担い手同士の話し合いを促進し、農地の集約化について検討する。
- 地域内の農業者を中心に後継者を育成し、将来的な経営モデルとして、20ha規模の水稲経営や水稲+ α の複合農業を推進する。また、兼業のあり方について検討する。
- 地域内で担い手の確保が難しい場合は、域外農業者の受け入れや新規就農者の育成・定着を図っていく。

集落名	浮島	浮島、須賀津（飛地）
-----	----	------------

2 対象地区（集落）の課題

- 水稲等は60代、70代の担い手が多く、今後担い手はやや不足が想定される。
- レンコンの担い手は比較的若く、後継者も比較的確保されている。
- 干拓地は、用排水等の基盤整備が不十分で、耕作がしにくい状況である。また、一部では塩害がひどく耕作放棄地となっている圃場もある。
- 小規模農家が多く、農地の集積が進んでいるとは言えない。
- 水稲、レンコンともに担い手の耕作地が点在しており、集約化が進んでいない。

3 対象地区（集落）内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- 離農等で新たに発生する農地の貸借や団地化推進のための耕作地交換等の際には、農地中間管理事業を活用し中心経営体への農地の集積・集約に関する取り組みを推進する。
- 干拓地については基盤整備事業が計画されており、事業に合わせて担い手への集積や耕作放棄地の解消を進める。
- 中心経営体等の担い手同士の話し合いを促進し、農地の集約化について検討する。
- 地域内の農業者を中心に後継者を育成し、将来的な経営モデルとして、20ha規模の水稲経営体や4ha規模のレンコン経営体、また水稲+レンコン等の複合農業を推進する。

集落名	西ノ洲・甘田入	西ノ洲、甘田（飛地）、阿波崎（飛地）
-----	---------	--------------------

2 対象地区（集落）の課題

- 事業完了時期が未定である。
- 現時点で想定されている担い手が60代、70代が多く、後継者は少ないが、農地の返還に向けて検討していく。
- 仮換地から年数がたっており、農地の集積・集約の状況も変化している。

3 対象地区（集落）内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- 離農等で新たに発生する農地の貸借や団地化推進のための耕作地交換等の際には、農地中間管理事業を活用し中心経営体への農地の集積・集約に関する取り組みを推進する。
- 農地の集約化等については、農地の返還に向けて検討していく。
- 農地の返還に伴い、規模拡大農家（受け手）が不足する場合は、農業法人等による地区内参入を検討し、不耕作地が発生しないよう農地の集積・集約を推進する。
- 将来的な経営モデルについては、農地の返還に向けて検討していく。

中心経営体（桜川地区）

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
1	認農 A	水田農業	15.5 ha	水田農業	26.6 ha	古渡・阿波・西甘
2	認農 B	水田農業	5.5 ha	水田農業	8.0 ha	古渡
3	認農 C	水田農業	8.6 ha	水田農業	15.0 ha	古渡
4	認農 D	水田農業	9.7 ha	水田農業	25.0 ha	古渡
5	認農 E	水田農業	17.4 ha	水田農業	20.0 ha	阿波・西甘・あ北
6	認農 F	水田農業	11.4 ha	水田農業	15.0 ha	阿波
7	認農 G	水田農業	6.9 ha	水田農業	10.0 ha	阿波
8	認農法 H	水田農業	53.1 ha	水田農業	95.7 ha	阿波・あ南・あ中・あ西
9	認農 I	水田農業	8.8 ha	水田農業	15.3 ha	阿波
10	認農 J	水田農業	7.3 ha	水田農業	9.5 ha	阿波
11	認農 K	水田農業	13.3 ha	水田農業	15.0 ha	阿波・西甘
12	認農 L	水田農業	5.7 ha	水田農業	10.0 ha	阿波
13	認農 M	水田農業	15.5 ha	水田農業	25.0 ha	阿波・あ北
14	認農 N	水田農業	10.3 ha	水田農業	15.0 ha	阿波・西甘
15	認農 O	水田農業	19.1 ha	水田農業	21.4 ha	鳩崎・浮島
16	認農 P	水田農業	9.6 ha	水田農業	12.0 ha	西甘・浮島
17	認農 Q	水田農業	37.2 ha	水田農業	40.0 ha	古渡・浮島
18	認農 R	水田農業	27.3 ha	水田農業	30.0 ha	古渡・浮島
19	認農 S	水田農業	31.5 ha	水田農業	35.0 ha	古渡・西甘・浮島
20	認農法 T	水田農業	105.9 ha	水田農業	150.0 ha	古渡・阿波・結佐・あ西
21	認農 U	水田農業	11.6 ha	水田農業	13.0 ha	阿波・浮島・あ北
22	認農 V	水田農業	18.7 ha	水田農業	19.0 ha	西甘・あ北・あ中
23	認農 W	水田農業	13.7 ha	水田農業	35.0 ha	浮島・あ北
24	認農 X	水田農業	15.7 ha	水田農業	20.0 ha	西甘・あ北
25	認農 Y	水田農業	22.7 ha	水田農業	25.0 ha	西甘・あ北・あ中
26	認農 Z	水田農業	4.8 ha	水田農業	7.5 ha	鳩崎・古渡
27	認農 A A	水田農業	3.6 ha	水田農業	4.0 ha	浮島
28	認農 A B	水田農業	4.0 ha	水田農業	13.0 ha	浮島・本新
29	認農 A C	水田農業	3.8 ha	水田農業	4.0 ha	浮島
30	認農 A D	水田農業	2.7 ha	水田農業	4.0 ha	浮島
31	認農法 A E	水田農業	10.9 ha	水田農業	11.0 ha	浮島
32	認農法 A F	水田農業	11.9 ha	水田農業	13.0 ha	浮島・本新
33	認農法 A G	水田農業	22.8 ha	水田農業	25.0 ha	浮島・本新
34	認農 A H	水田農業	3.3 ha	水田農業	5.5 ha	浮島
35	認農 A I	水田農業	4.3 ha	水田農業	4.8 ha	浮島・結佐
36	認農 A J	水田農業	3.3 ha	水田農業	6.0 ha	浮島
37	認農 A K	水田農業	6.4 ha	水田農業	7.1 ha	浮島
38	認農 A L	水田農業	8.9 ha	水田農業	9.0 ha	浮島
39	認農 A M	水田農業	6.3 ha	水田農業	8.0 ha	浮島
40	認農 A N	水田農業	2.5 ha	水田農業	5.0 ha	浮島
41	認農 A O	水田農業	5.4 ha	水田農業	6.0 ha	西甘・浮島

42	認農	A P	水田農業	3.3 ha	水田農業	5.2 ha	浮島
43	認農	A Q	水田農業	3.2 ha	水田農業	4.7 ha	浮島
44	認農	A R	水田農業	3.8 ha	水田農業	4.0 ha	浮島
45	認農	A S	水田農業	4.6 ha	水田農業	5.0 ha	浮島
46	認農	A T	水田農業	5.5 ha	水田農業	6.0 ha	浮島
47	認農	A U	水田農業	2.3 ha	水田農業	3.5 ha	浮島
48	認農	A V	水田農業	9.4 ha	水田農業	10.0 ha	浮島
49	認農	A W	水田農業	1.6 ha	水田農業	4.0 ha	浮島
50	認農	A X	水田農業	5.2 ha	水田農業	6.0 ha	浮島
51	認農	A Y	水田農業	3.6 ha	水田農業	13.5 ha	浮島
52	認農	A Z	水田農業	2.9 ha	水田農業	3.0 ha	浮島
53	認農	B A	水田農業	8.9 ha	水田農業	9.0 ha	浮島・あ北
54	認農	B B	水田農業	11.1 ha	水田農業	20.0 ha	浮島・結佐
55	認農	B C	水田農業	4.2 ha	水田農業	6.0 ha	浮島
56	認農	B D	水田農業	2.2 ha	水田農業	5.8 ha	浮島
57	認農	B E	水田農業	14.3 ha	水田農業	16.0 ha	西甘・浮島・あ北
58	認農	B F	水田農業	2.2 ha	水田農業	5.5 ha	浮島
59	認農	B G	水田農業	3.3 ha	水田農業	4.1 ha	浮島
60	認農	B H	水田農業・畑作農業	3.6 ha	水田農業・畑作農業	3.7 ha	阿波
61	認農	B I	畜産	7 頭	畜産	10 頭	古渡
				702.1 ha		973.4 ha	